

ナラハクの“今”をお届けする季刊情報誌

130th  
ナラハク

Nara National Museum  
News

Vol.

2025  
7・8・9月

134



# 奈良博だより

## 〔展覧会〕

奈良国立博物館開館130年・  
天理大学創立100周年記念特別展

世界探検の旅  
—美と驚異の遺産—



## 〔特集〕

ナラハク行くなら  
仏像館に行かないと！





「第5室には、誕生釈迦仏をはじめとする小さな金銅仏たちを集めました。実は重文だらけなんですよ」



阿弥陀如来坐像（鎌倉時代・13世紀、奈良・西大寺）。「来迎印（らいごういん）のうち、上品下生印（じょうばんげしょういん）を結んでおられるのがちょっと珍しいのではないですか」



最近  
エントランスを  
リニューアル  
しました！

開館130年記念事業の一環として「奈良国立博物館 仏像館」に改称するにあたり、ロゴもリニューアル。その文字は、聖武天皇の自筆の書『雑集』（正倉院宝物）から採られたもの。



一部の作品は  
撮影可です。  
記念にぜひ！



このマークが  
目印！



仏像館の展示作品の一部は、撮影OK！男神・女神坐像（平安時代・12世紀、当館）もそのひとつ。「人間味ある表情や動きのある姿がこの像の面白いところです」

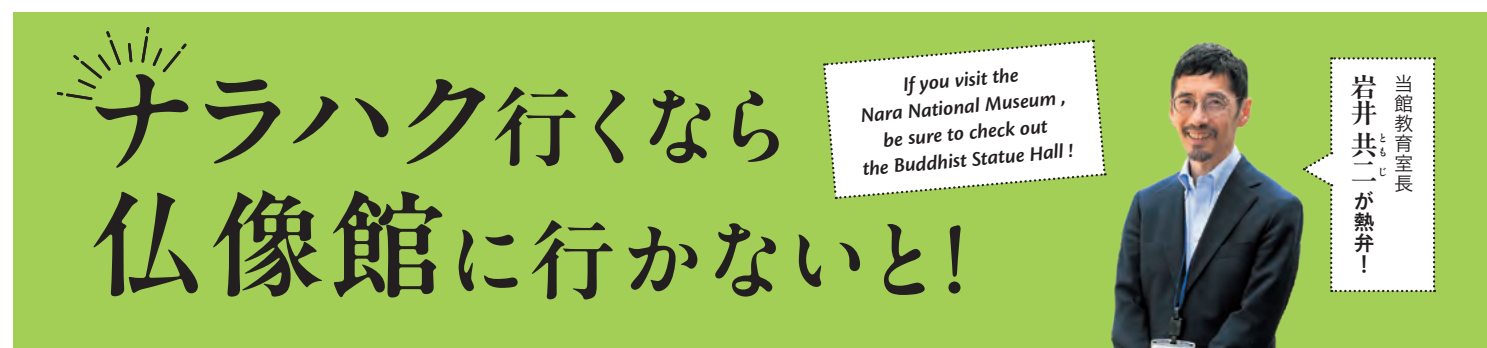


「さまざまな仏像のパーツを集めた展示です。全体が残っていたらどんな像だったのだろうなどと想像を膨らませるのも楽しいですね」



今しか出会えない  
仏像も！

重文・金剛力士立像（吽形・阿形、南北朝時代・延元4年（1339）奈良・金峯山寺）は、金峯山寺の仁王門修理完了までの期間限定で特別公開中。細部まで目の当たりにできるのは、博物館ならでは。



If you visit the  
Nara National Museum,  
be sure to check out  
the Buddhist Statue Hall!

当館教育室長  
岩井共二が熱弁！

いつだって  
特別展級  
それが仏像館！

第7室には十一面観音菩薩立像が大集合。「同じ尊名の仏像を並べることで、遥か昔の作り手による表現の違いが際立ちます。ぜひじっくり見比べてみてください」

重文・阿弥陀如来立像（裸形、鎌倉時代・建仁元年（1201）、兵庫・浄土寺）。「快慶の作です。上半身の衣は表現されておらず、本物の衣を着せて、迎講（むかえこう）の本尊とされたようです」



掃除する  
タイミングも  
学芸員が  
判断しています

仏像館と新館をつなぐ地下回廊にある教育普及スペース「ちえひろば」では、ランダムで出てくる“今日会える仏像”シートを配布中。左の阿弥陀如来もそのひとつ。



明治時代の建築技術の高さを体感できる西側玄関。「ここが本来の入り口なのですが、当初からあまり使われていなかったみたいです」。現在は、年4回程度の無料観覧日に特別開放している。

仏像館はナラハクの醍醐味！  
訪れるたびに新たな出会いが  
六月十五日まで開催されていた「超 国宝展」も大好評のうちに幕を閉じたナラハク。だが、その担当学芸員でもある岩井は「ナラハクの特別展にお越しいただいたら、ぜひ仏像館にもハシゴしていただきたい」と語る。  
「明治二十八年（八九五）の開館当初から使用している展示施設が、この仏像館です。今年、開館三〇年を迎えるにあたり、名称も「なら仏像館」から「奈良国立博物館 仏像館」に改め、より一層仏像の魅力を存分に味わっていただける展示をお見せしていきたいと思っています」。

仏像館には、館藏品はもちろんのこと、奈良をはじめとする全国の古社寺からの寄託品も交え、常時百体近くの仏像が展示されている。さらに、ナラハクファンならご存じの通りだが、仏像館では部分的ではあるものの年四回の展示替えを行なっているのだ。  
「躍動的なポーズの『伽藍神立像』は、走り大黒の名で親しまれ、奈良マラソンのポスターデザインに採用されたこともある、ちよつとユニークな作品です」。

気になる方はぜひ仏像館へ！



重文・菩薩立像（飛鳥時代・7世紀、奈良・金龍寺）。「個人的には、飛鳥時代の仏像がイチオシですね」。

写真手前：重文・梵天立像（頭部：奈良時代・8世紀、体部：鎌倉時代・正応2年（1289）、奈良・秋篠寺）。ファンの多い伎芸天との類似点も多く認められる。



奈良・金峯山寺の重文・金剛力士立像の足も、こんなに間近に見られる。





## ✔ 奈良国立博物館、初の民族文化展！

仏教美術を専門とする奈良国立博物館と、30万点を超える考古資料・民族資料を有する天理大学附属天理参考館との初のコラボレーション展です。

天理大学附属天理参考館が所蔵する世界各地のコレクションに、奈良国立博物館の仏教美術作品などを加え、ゾクゾクするほどおもしろい展覧会を作り上げます！



カットガラス碗  
伝イラン ササーン朝(5～6世紀)  
天理大学附属天理参考館

初公開

## ✔ 出品件数約220件！

6000年に及ぶ人類の歴史を約220件の資料で凝縮して紹介する展覧会。ユーラシア大陸の東西文明交流、世界各地の信仰と死後の世界観、今は失われた20世紀の生活文化など、幅広い視点で世界を探求します。天理大学附属天理参考館のみが所蔵する稀少な作品や初公開の資料も多数。展示品はすべて写真撮影OKです！

さいもんおおがたつぽ  
彩文大型壺  
ペルー中東部 20世紀  
天理大学附属天理参考館



## ✔ 奈良に「世界」がやってくる！

大阪・関西万博の会期中に開催される本展でも、世界の文化を体感できるよう、現地感のある趣向を凝らした展示空間を創出します。

大人から子どもまで楽しめる“旅するような博物館体験”にどうぞご期待ください。「摩訶不思議アワー」と題した、通常展示とは異なる照明・デジタル演出の時間も設ける予定です。

儀礼劇チャロナランの仮面  
聖獣バロン・ケケット  
インドネシア、バリ島 20世紀前半  
天理大学附属天理参考館



## 摩訶不思議アワー

日時限定で、いつもの博物館とは異なる照明やデジタル演出を実施！没入感のある特別な時間にもご期待ください。

【実施日時】毎週土曜日および8月5日(火)～15日(金)の午後5時～7時、  
毎週日曜日午後3時～5時



写真はイメージです。実際の演出と異なる場合があります。



夕刻の  
奈良博に  
異世界への  
扉が開く！

## 天理大学附属天理参考館

1930年(昭和5年)創立。人々を理解するには世界各地の歴史、風俗、習慣、実生活を知る必要があります。そのために、美術品や骨董価値のあるものではなく、むしろその土地、そのところの風習や生活がわかる手垢にまみれたような資料を探し求めたのが始まりでした。揺籃(ようらん)期における資料収集はほとんどがアジアの民族資料に限られていました。考古資料はやや遅れて収集が始まります。その後、資料は急速に増強されて行きます。世界各地からの海外民族資料、日本民俗資料、そして切符などの交通文化資料が新たに集められました。参考館は現在、量・質ともに国内有数のコレクションを形成しています。いながらにして世界旅行を体験できるほどです。今日の国際社会に必要とされる文化の多様性を認め、異文化理解に貢献することを役目とし、これらの資料の本当の意味や文化、歴史の情報を発信しています。



## 今期の仏像館ニュース 7月1日(火)～9月28日(日)

第1室はお釈迦さまを中心に、第9室は仏教の守護神・天部を中心とした展示に変わります。この機会にぜひご覧ください！



【特別公開】金峯山寺仁王門 金剛力士立像 一奈良・金峯山寺所蔵—  
【珠玉の仏たち】▶釈迦如来坐像(奈良・法隆寺)、出山釈迦立像(当館)、釈迦涅槃像(奈良・橋本院)、  
釈迦如来立像(奈良・長谷寺)、十二神将立像(奈良・東大寺)ほか



仏像館名品展  
出陳一覧はこちら！

ふつきじよかす  
伏羲女媧図

中国、トルファン 6～7世紀 天理大学附属天理参考館



大迫力の  
世界のフシギに  
奈良博で出会える！

儀礼劇チャロナランの仮面 魔女ランダ  
インドネシア、バリ島 20世紀前半  
天理大学附属天理参考館



金製頭飾 人面形  
推定ポリビア インカ帝国期(15～16世紀)  
天理大学附属天理参考館

奈良国立博物館開館130年・天理大学創立100周年記念特別展

# 世界探検の旅 —美と驚異の遺産—

会期 2025 7.26[土]—9.23[火・祝]

世界中の美と驚異の遺産がこの夏、奈良博に集結！

本展は、世界中から集められた天理大学附属天理参考館の30万点にのぼる膨大なコレクションを選びすぐってご紹介するとともに、奈良博所蔵の仏教美術作品をクロスさせ、人類の約6000年に及ぶ歴史を探究する展覧会です。ユーラシア大陸の東西で発祥した文明と交流を辿る「文明の交差する世界」、世界各地の祈りの形に驚かされる「神々と摩訶不思議な世界」、失われゆくひと昔前のユニークな世界の造形を集めた「追憶の20世紀」の3つの章で構成し、考古資料や民族資料を中心に約220件を展示します。中には、世界でも天理参考館のみが所蔵する稀少な作品や初公開の作品も！奈良博と天理大学がともにアニバーサリーイヤーを迎えた本年ならではの本展を通して、時空を超えた世界探検の旅にお出かけください。

担当学芸員が教える  
必見  
Point!

広報室長  
中川あや



この文章を書いているのは、展示準備が佳境の頃。図録の制作、展示会場の図面検討、作品の集荷などが重なり、目まぐるしい日々です。奈良博で初めての試みがいっぱい詰まった本展。担当者も開幕の日が待ち遠しくなりません！

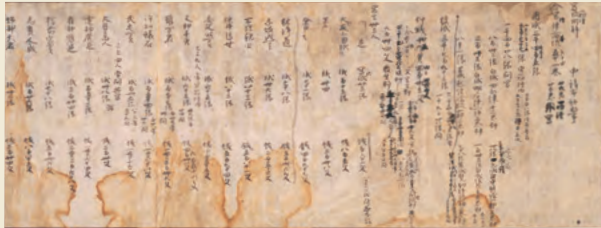


詳細は  
こちらから！



夏の特別展「世界探検の旅」の準備が山場を迎えている。館内・館外のメンバーが携わる様々な仕事の中で、私の役割のひとつは図録の編集。今回は、世界中の民族文化を紹介するという奈良博では異色の展覧会だけに、その図録も前例にない構成・内容・デザインを取り入れた挑戦的な仕上がりになりそうだ。

そんな「世界探検の旅」展の図録だが、仕事をしながら私は、奈良時代の写経事業のことを思い浮かべている。写経というのは、一人の筆者（経師）が黙々と経文を書き写すだけの



▲写一切経所解案断簡（奈良時代・8世紀、当館）。経師・装潢・校生あわせて40人あまりが作業した写経用紙の枚数を集計し、給料を計算した帳簿の一部。



▲◀重文・華嚴経 卷第七十（奈良時代・8世紀、当館）の巻末部分とその裏側。軸をつけた紙の端の裏に校生の墨書（▲部分）が残っている。

ものではない。とくに奈良時代には、紙を用意し経巻を仕立てる「装潢」、経文の写し間違いがないかチェックする「校生」、現場の進行を管理する「案主」など、今の図録製作のように多くのスタッフが協力していた。経師が原稿執筆者だとすれば、装潢は図録のデザイナーと印刷会社、私はさしずめ校生兼案主といったところだろう。

こうした古代のプロジェクトの仕組みが分かるのは、案主が残した膨大な帳簿類が、正倉院文書として伝わったからだ。たとえば経師と校生

消化したノルマを集計した、給与処理のための帳簿がある（当館蔵「写一切経所解案断簡」）。あるいは完成した経巻の端に、校生がチェックを終えた時のメモが残っていたりもする（当館蔵「華嚴経 卷第七十」）。この経巻を担当した校生は上馬甘と下道主、のちに有能な案主として活躍した二人であったという指摘もある。

今回の「世界探検の旅」展の図録、裏方の仕事はどんな形で残ることになるだろうか。（当館企画室研究員 樋笠逸人）

NEWS 1 大学院連携ワークショップを開催します



※昨年度のワークショップの様子

奈良教育大学大学院と連携し、子ども向け工作ワークショップを毎年夏に開催しています。大学院生の画期的なアイデアが詰まった工作体験は、展示作品を楽しく学べると毎年大好評です。このワークショップを、今年は特別展「世界探検の旅―美と驚異の遺産―」の摩訶不思議な展示作品をモチーフとして実施します。地域の学生の多様なアイデアとともに、奈良博はこれからも誰もが楽しめる博物館を目指してまいります。

ワークショップの詳細・お申込みはこちらから！



NEWS 2 開館130年記念誌が完成しました

奈良博130年の歴史を振り返るとともに、奈良博の将来的なビジョンを示すリーフレットを作成しました。奈良博の今までとこれからを、ビジュアルたっぷりにご紹介いたします。



開館130年特設サイトからご覧ください！



スペシャルサンデートーク

美術や歴史のこと、博物館の活動など、当館ならではの多彩なテーマ、日頃聞くことの出来ない「通」なお話をご用意して、皆様をお待ちしております。どうぞお気軽にご参加ください。

7月20日(日)  
「細部に宿る美 ―神秘の密教法具―」  
羽良 朝風(当館交流推進室アソシエイトフェロー[工芸担当])

8月17日(日)  
「新・正倉院文書入門講座 第1回 戸籍」  
樋笠 逸人(当館企画室研究員[書跡担当])

9月21日(日)  
「奈良博考古の130年」  
中川 あや(当館広報室長[考古担当])

10月19日(日)  
「奈良博の生物被害対策」  
小峰 幸夫(当館保存修復室アソシエイトフェロー[文化財防災担当])

11月16日(日)  
「奈良博と辿る山の信仰と美術」  
松井 美樹(当館美術工芸室アソシエイトフェロー[絵画担当])

12月21日(日)  
「神仏習合思想をよみとく」  
斎木 涼子(当館列品室長[書跡担当])

時間 13:30～15:00(13:00開場)  
会場 当館 講堂  
定員 各180名(事前申込抽選制)

申込方法 要事前申込 (WEB申込のみ)  
※当日申込での参加はできません。

受付期間 当館ウェブサイトの「サンデートーク」から各講座欄をご覧ください。

受講料 無料(展覧会観覧券等の提示は不要)

《抽選制へ変更のお知らせ》

4月以降は、事前申込抽選制となりました。抽選結果は期日までにお送りいたします。当選者にキャンセルが発生した場合、繰り上げ当選連絡を行います。詳細はウェブサイトをご覧ください。



サンデートークの詳細・お申込みはこちらから！

第51回奈良国立博物館夏季講座「奈良博130年の歩みとこれから」

令和7年(2025)4月29日、奈良博は開館130年を迎えました。これを記念して、奈良博の130年の歩みを近代以降の文化財保護の流れとともに振り返り、これからの奈良博を考えるため、奈良博と関わりの深い先生方もお招きし、様々な視点よりお話いたします。奮ってご参加ください。

日時 8月28日(木) 9:45～16:15  
8月29日(金) 10:00～14:45

主催 奈良国立博物館

会場 当館 講堂

定員 180名 ※申し込み人数が定員を超えた場合は抽選。  
当日申込での参加はできません。

申込方法 要事前申込 (WEB・往復はがき申込)  
当館ウェブサイトの「その他の講座」をご覧ください。

受講料 1,500円 ※お客様都合による、お振込み後の返金はできません。  
予めご了承ください。

※詳細はウェブサイトをご覧ください。

※オンライン(YouTube等)配信は行いませんので、予めご了承ください。



夏季講座の詳細・お申込みはこちらから！

世界探検の旅 ―美と驚異の遺産― 記念講演会

8月9日(土)  
「文明の交差する世界」  
講師：巽 善信 氏、江 介也 氏(いずれも天理大学附属天理参考館)  
内藤 航(当館資料室研究員)

9月6日(土)  
「神々と摩訶不思議な世界」  
講師：早坂 文吉 氏、荒田 恵 氏、間舍 裕生 氏  
(いずれも天理大学附属天理参考館)

9月20日(土)  
「追憶の20世紀」  
講師：梅谷 昭範 氏、中尾 徳仁 氏  
(いずれも天理大学附属天理参考館)

時間 13:30～15:15(13:00開場)  
会場 当館 講堂  
定員 各180名(事前申込抽選制)

申込方法 要事前申込 (WEB申込のみ)  
※当日申込での参加はできません。

受付期間 当館ウェブサイトの「公開講座」から各講座欄をご覧ください。

受講料 無料(展覧会観覧券等の提示は不要)



記念講演会の詳細・お申込みはこちらから！



これからの  
展覧会  
Upcoming

## 修理完成記念

# 特別公開 奈良・法華寺十一面観音立像

【会期】令和7年9月30日(火)～12月21日(日)

【会場】仏像館 第3室(像内納入品)、第7室(十一面観音立像)



十一面観音立像 (奈良・法華寺)

水瓶と錫杖を手に執り台形の磐石上に立つ、奈良・長谷寺本尊を模した十一面観音像で、法華寺本堂に安置されています。従来、室町時代の制作とされる一方、体部は鎌倉から南北朝時代にさかのぼり、頭部は後世の補作とする見方もありました。また、簡略な彫り口や像の表面に彩色しない点から、病気の平癒や故人の追善などを願い1日で造り上げる「一日造立仏」である可能性が想定されていました。

昨年度、公益財団法人三菱財団の助成を受けて実施した解体修理により像内納入品が発見され、頭部は延宝4年(1676)の作と判明しました。さらに中世のものとみられる納入品から「一日造立観音」の墨書が確認され、先の推測が裏づけられました。こうした成果を受けて、面目を一新した像とともに納入品を特別公開いたします。

## 会員制度のご案内

### ■奈良国立博物館賛助会

令和7年7月1日現在、特別支援会員4団体、特別会員9団体、一般会員(団体)14団体、一般会員(個人)179名のご入会をいただいております。

【特別支援会員】 ㈱読売新聞大阪本社、㈱大和農園ホールディングス、㈱日本香堂、宗教法人 地藏院

【特別会員】 ㈱奥村組西日本支社、㈱朝日新聞社、㈱ライブアートブックス、㈱葉風泰夢、結の会、  
㈱ワールド・ヘリテージ、富士シリシア化学㈱、㈱都市経営戦略研究所

【団体会員】 日本運送㈱関西美術品支店、㈱尾田組、㈱木下家具製作所、㈱天理時報社、㈱きんでん奈良支店、  
奈良信用金庫、ひかり装飾㈱、㈱南都銀行、小山㈱、奈良県有名専門店会、㈱ゴードー、  
一般社団法人 茶道裏千家 淡交会 奈良支部、西日本旅客鉄道㈱

【個人会員】 松谷 寿悦様、高桑 いづみ様(以上、令和7年3月ご入会)  
湯浅 鉄二様、都築 実来様、中野 聖子様、森山 陽介様、寺本 俊彦様、花木 順子様、清水 千津子様  
(以上、令和7年4月ご入会)  
黒川 賢成様、瀧 道子様、木越 純様、大田 幸子様、橘 直弥様、平岡 彦次様、谷 規佐子様  
(以上、令和7年5月ご入会)

(入会順)

### ■キャンパスメンバーズ

「奈良国立博物館キャンパスメンバーズ」とは、国立博物館と大学等との連携を図り、博物館が所蔵する文化財を核として文化や歴史とともに学ぶ場を提供する会員制度です。加入していただいた学校には、次のような特典があります。

#### 特典例

#### ■名品展の無料観覧

学生証または教職員証の提示により、会員期間中は何度でも名品展(特別陳列を含む・特別展は除く)を無料でご観覧いただけます。

#### ■特別展の観覧料金割引

- ①学生証の提示により、観覧料金が400円になります。
  - ②教職員証の提示により、観覧料金が100円引きになります。
- ただし、①・②について、別途定める場合がございます。

#### ■研究員による解説付きの 特別鑑賞会の実施(要申込)

※展覧会により実施しない場合があります。

キャンパスメンバーズの  
詳細や加入校は  
こちらから！



### ■開館日時 (7月～9月)

#### ■開館時間/午前9時30分～午後5時

※8月5日～14日(なら燈花会会期間)・8月15日(中元万燈籠)

及び、毎週土曜日は午後7時まで。

※入館は閉館の30分前まで。

#### ■休館日/毎週月曜日、

7月22日(火)、9月16日(火)

※7月21日(月・祝)、8月11日(月・祝)、9月15日(月・祝)、  
9月22日(月)は開館。

#### ■観覧料金 名品展

	一般	大学生
個人(当日)	700円	350円

※高校生以下および18歳未満の方、満70歳以上の方、障害者手帳またはミライIDをお持ちの方(介護者1名を含む)は無料。※奈良国立博物館キャンパスメンバーズ加盟校の学生及び教職員の方は無料。※高校生以下および18歳未満の方と一緒に観覧される方は子ども1名につき同伴者2名まで一般100円引き、大学生50円引き(親子割引)。

### ■観覧料金

奈良国立博物館開館130年・天理大学創立100周年記念特別展

「世界探検の旅 一美と驚異の遺産」

	一般	高大生	中学生以下 無料
当日	1,800円	1,300円	
前売・団体 (20名以上)	1,600円	1,100円	

※販売場所:当館観覧券売場(休館日の販売はいたしません)、展覧会公式サイト(E-tix)・アソビュー、ローソンチケット、チケットぴあ、セブンチケット、イープラス、CNプレイガイド ※前売券の販売は令和7年(2025)5月21日(水)～7月25日(金)まで。※障害者手帳またはミライIDをお持ちの方(介護者1名を含む)、奈良博メンバーシップカード会員の方(1回目及び2回目の観覧)、賛助会会員(奈良博、東博[シルバー会員を除く]、九博)、清風会会員(京博)、特別支援者は無料。※本展の観覧券で、名品展(仏像館・青銅器館)もご覧になれます。※奈良国立博物館キャンパスメンバーズ会員(学生)の方は400円、同(教職員)の方は1,700円で当日券をお買い求めいただけます。観覧券売場にて学生証または職員証をご提示ください。



#### 【交通案内】

近鉄奈良駅下車徒歩約15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から市内循環バス(外回り)「氷室神社・国立博物館」下車すぐ。

※当館には駐車スペースがありませんので、近隣の駐車場をご利用ください。



奈良国立博物館  
NARA NATIONAL MUSEUM

『奈良博だより』は、1・4・7・10月に発行します。郵送をご希望の方は、何月号かを明記し、返信用封筒を同封して、当館の広報室にお申し込みください。※返信用封筒には宛名を明記し、長形3号の場合は110円切手を、角形2号の場合は140円切手を貼付してください

〒630-8213 奈良市登大路町 50 番地 (奈良公園内) ハローダイヤル 050-5542-8600 ウェブサイト <https://www.narahaku.go.jp/>